

令和5年度 KOKO響 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

自己評価概要

KOKO響に勤務するスタッフ（常勤・非常勤含め）にR6年1月自己評価表を配布し5名の回答を得られ、集計を行った。

集計後、運営、スタッフ間のミーティングにより改善目標について話し合いを行った。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が機能訓練等スペースとの関係で適切であるか	5			スペースが広く個々に合わせた活動や訓練を行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	5			職員の配置数は適切ですが、そう少し職員が増えるように募集中です。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			室内・室外に段差はなくスムーズに移動が出来ている。
	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	5			長期・短期目標をスタッフのみが見える場所に貼り全員が共有している。
業務 改善	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			8月開所のため、KOKO響としては今回が初めてのアンケートです。保護者の意見を聞き今後の業務に繋げていく。
	⑥	この自己評価の結果を事業者の会報やホームページ等で公開しているか	3	2		KOKO響としては初めての公開となるが、同事業所のKOKO・KOKO奏は2019年より公開している。

⑦	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか	3	1	1	今後の課題にあげていく。
⑧	職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか	5			研修会の案内をスタッフに知らせ、可能な研修には参加している。
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			サポートブックの提供と、日頃の送迎時に話を聞きながら計画書を作成している。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			重度障害の子供達なので、サポートブックと保護者からの情報提供を基本におこなっている。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			日々の活動や、季節の行事等を話し合い子供たちが楽しめるように工夫している。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			パネルシアター・音楽活動・絵本の読み聞かせ・感覚遊び・郊外活動等、子ども達に合った活動を工夫している。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援をしているか	5			放課後の短い時間と1日利用の長い時間では活動内容が違ってくるので、季節や天候を配慮して全員が楽しめるように工夫している。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			個別活動・集団活動の両方を組み合わせ計画書を作成している。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			利用人数に合わせて役割分担を行っている。

	⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	4	1		支援終了後はスタッフが居ないため、翌日打ち合わせを行い作日の気付き等の反省を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			個別・看護記録の記入は徹底している。問題があればミーティングを行い解決に繋がっている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			各専門の職種の立場からも意見を出し合い、定期的にモニタリングを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせせて支援を行っているか	5			
関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	5			重度障害の子供達のため、看護師の同席と必要に応じてOT・PTも参加することがある。
	㉑	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			学校に迎えに行く際に情報交換を行い体調面等を共有している。年間計画や行事については保護者より情報提供をしてもらっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	1		主治医と連絡体制はないが、保護者より意見書の提出をもらっている。

連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解につとめているか	4	1		必要に応じて情報共有を行うことはある。
関係機関や保護者との連携	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス支援事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか	2	2	1	現時点では移行した利用者はいないが、必要に応じて情報提供をしていく。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		研修を受ける機会はないが、必要時に助言を受けることはある。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	1	今後の課題にあげていく。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	3		8月開所のため積極的に参加はしていないが今後の課題にあげていく。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			連絡帳や送迎時に情報交換を行い問題を共有している。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5			事業所での活動等を伝え出来ることが増えているなど、家庭での様子を聞き保護者の対応向上に努めている。
	㉗	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			見学時に契約書に基づき丁寧に説明を行っている。

保護者への説明責任等

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			送迎時に悩み相談を行い、内容に応じては改めて時間を確保し支援を行っている。
③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	3	2		保護者会形式ではないが、療育センター・特別支援学校を通し保護者同士が連携されており、会話の中で支援を行っている。
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情責任者（児発管）が受け付け、適切に対応した上でスタッフに周知している。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			2か月毎に会報等の発行を行い、活動内容の報告、外出の許可等を受け行事を行っている。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	5			写真・名前の掲示については保護者の許可を得て行っている。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意見の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			連長や送迎時に情報を伝えている。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	3	1	1	8月開所のため地域との交流はできていない。今後の課題にあげていく。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			すべてのマニュアル作成し保護者に配布している。

非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		1	8月開所のため避難訓練等はできていないが。今後の課題にあげていく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	5			重度の障害児のため虐待はないが、日頃より子供たちの接し方等の指導は行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			重度障害の子供達のためバギーに乗り専用のベルトを使用するが、転倒防止対策として計画書に記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の基づく対応がされているか	5			担当医の指示書や保護者からの情報により常に配慮している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1		ヒヤリハット等の報告の提出を行い、ミーティング等で情報共有している。